

SPring-8 共用施設利用研究課題の募集、選定について (お知らせ)

平成 8 年 3 月

放射光利用研究促進機構
財団法人高輝度光科学研究センター

SPring-8 の建設工事は、現在順調に進んでおり、平成 8 年 8 月には線型加速器のコミショニングを行い、シンクロトロンのコミショニングを経て、平成 9 年 2 月頃には蓄積リングのコミショニングを行い、同年 10 月から供用を開始する予定です。(財)高輝度光科学研究センター(以下、JASRI という)では利用課題選定委員会での審議に基づき、供用開始時期を踏まえて共用施設(共用ビームライン)の利用研究課題の募集、選定に関して以下の準備作業を進めておりますのでお知らせいたします。なお、利用研究課題の募集は別途学会誌等を通じて行う予定です。

1. 利用研究課題に係る基本的な考え方

JASRI では昨年 12 月、共用施設の利用研究課題の選定にあたっての基本的事項を取りまとめており、これについては S R 科学技術情報の 1 月号(本誌 22 頁にも掲載)に掲載しました。その内容は、募集の方法、審査基準、審査手順、緊急課題の取扱い等に関するものです。なお、利用料金、研究成果の取扱い等の考え方については引き続き検討中であり、募集時までには取りまとめることにしていません。

2. 利用研究課題の申請書様式

利用研究課題の申請書については、実験の内容、利用を希望するビームライン、安全性に関する記述など、要領よく記載していただくものとする予定です。

3. 利用研究課題の募集方法

SPring-8 は供用開始後しばらくの間、特別な利用研究課題の取扱いが必要になると考えています。具体的には、ビームラインのコミショニングと利用研究の実施とを両立させる必要があるため、しばらくの間はこの趣旨にそった利用研究を優先的に実施したいと考えています。このため、第 1 回目の利用研究課題の募集及び選定については、募集開始から課題選定までに多少時間をかけ、慎重に行うことを予定しております。

以上、各事項についての検討を遅くとも本年春には終え、利用研究課題の募集を始める予定です。なお、SPring-8 の近況を下記に記載いたします。

本件についての問い合わせ先
財団法人高輝度光科学研究センター 企画調査部
電話 07915-8-0960 FAX 07915-8-0965

SPring-8 のホームページ : <http://www.spring8.or.jp>

.....

SPring-8 の近況

1. 主な経緯と予定

昭和 63 年 1 月 日本原子力研究所・理化学研究所「大型放射光施設の研究開発に関する協定」締結

昭和 63 年 5 月	「次世代大型 X 線光源研究会」発足
昭和 63 年 10 月	日本原子力研究所・理化学研究所「大型放射光施設研究開発（計画推進）共同チーム」設置
平成元年 6 月	科学技術庁：建設地を兵庫県播磨科学公園都市に決定
平成 2 年 12 月	財団法人高輝度光科学研究センター設立
平成 3 年 3 月	入射系加速器及び蓄積リング製作開始
平成 3 年 5 月	SPring-8 共同チーム播磨管理事務所開設
平成 3 年 11 月	蓄積リング棟建設着工
平成 5 年 2 月	入射系加速器棟建設着工
平成 5 年 5 月	APS・ESRF・SPring-8 三極協力の基本的枠組みの合意
平成 6 年 10 月	特定放射光施設の共用の促進に関する法律施行 財団法人高輝度光科学研究センターが放射光利用研究促進機構に指定
平成 7 年 3 月	ビームライン製作開始
平成 7 年 4 月	入射系加速器棟竣工、蓄積リング電磁石据付開始
平成 7 年 5 月	入射系加速器据付開始

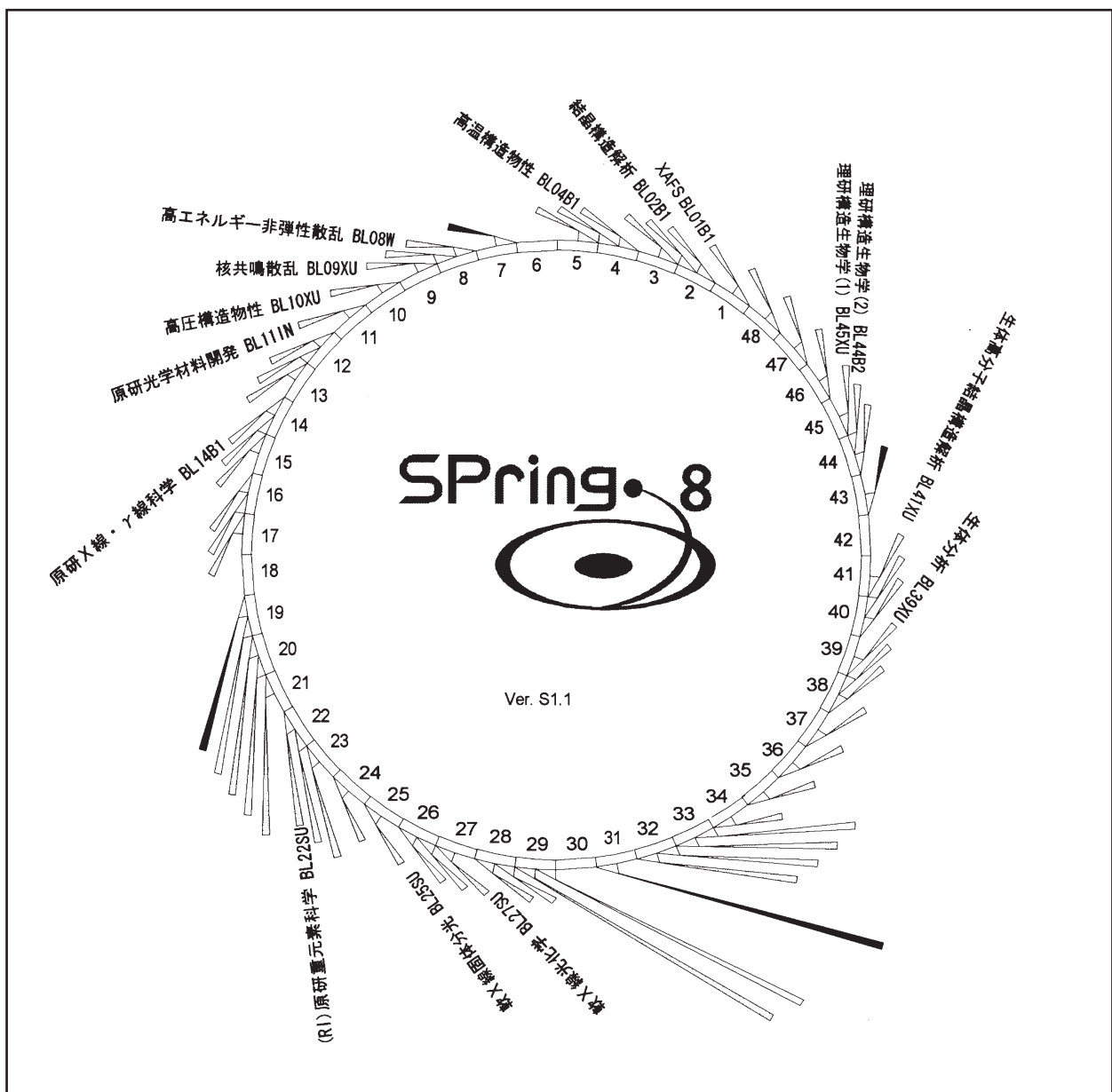
今後の予定

平成 8 年 8 月	入射系加速器（線型加速器）コミッショニング
平成 8 年 10 月	入射系加速器（シンクロトロン）コミッショニング
平成 8 年 12 月	蓄積リング棟竣工、ビームライン据付開始
平成 9 年 2 月	蓄積リングコミッショニング
平成 9 年 5 月	ビームラインコミッショニング
平成 9 年 10 月	ビームライン供用開始

2. 共同利用ビームライン計画

ビームラインの名称	研究分野	光源	エネルギー範囲	供用開始予定時期
生体高分子結晶構造解析	蛋白質立体構造	真空封止 U	9 ~ 18keV 27keV, 38keV	平成 9 年 10 月
軟 X 線固体分光	固体の電子状態	円偏光 U	0.5 ~ 3 keV	平成 9 年 10 月
高エネルギー非弾性散乱	磁気コンプトン散乱	楕円偏光 MPW	100 ~ 150keV 約 300keV	平成 9 年 10 月
核共鳴散乱	核共鳴散乱	真空封止 U	5 ~ 25keV 5 ~ 75keV	平成 9 年 10 月
高圧構造物性	高圧下における物質構造	真空封止 U	15 ~ 60keV	平成 9 年 10 月
軟 X 線光科学	光化学反応	直線偏光 U	0.5 ~ 3 keV	平成 9 年 10 月
生体分析	微量分析 X 線磁気吸収	真空封止 U	4 ~ 20keV	平成 9 年 10 月

ビームラインの名称	研究分野	光源	I ₀ λ ² -範囲	供用開始予定時期
結晶構造解析	構造相転移	偏向電磁石	8 ~ 50keV	平成 9 年 10 月
高温構造物性	高温における物質構造	偏向電磁石	10 ~ 70keV	平成 9 年 10 月
XAFS	XAFS	偏向電磁石	3.5 ~ 90keV	平成 9 年 10 月



SPring-8 蓄積リング棟内ビームラインの位置図 (平成 8 年 2 月現在)